



—本日のプログラム—

ロータリーの友月間に因んで

ロータリアン卓話 ロータリーの友委員 地区代表 小貫啓司 委員

本日のロータリーソング

「それどこそロータリー」

どこであっても やあと言おうよ  
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ  
遠い時には 手を振り合おうよ  
それどこそ ローローロータリー

—次回以降のプログラム—

9/25 新会員卓話 海老原次男君

第2863回例会記録(2018年9月11日開催)

点鐘・ソング	阿部会長 ・ 我等の生業
<p>会長報告</p> <p>阿部会長</p>	<p>・9/10(月)に亀ヶ崎青年会議所さんを中心に会員増強集会を開きました。参加者は、会長、小島幹事、岩田会員組織委員長、寺田直前会長、諸岡君です。亀ヶ崎青年会議所からは根本理事長、金子専務理事、雑賀副理事長、小林事務局長、中屋敷さんが出席して下さいました。ロータリークラブの素晴らしいところを紹介し、JCのOB,OGである岩田君、小島(律)君から話があり、JCの方々より質問等がありました。JCの会員は現在28名で12月には6名の卒業会員がいるそうです。今度クラブの例会を見学に来て下さるような話になり、また11月以降のプログラムに卓話の予定を入れ、12月のJC卒業式にはロータリークラブも招待して下さいとのことでした。JCからは息子さんやお孫さんを是非JCに紹介して下さいとのことですので、応援はさせて頂きますと返事をしました。金子さんは元会員の金子博光さんの御子息です。来年理事長就任予定だそうです。何とか若い会員に亀ヶ崎クラブに入会してもらいたいのので、今後JCと親睦を重ねて入会にもっていきたいです。</p> <p>・9/4の理事会で下記の議案について承認されました。</p> <p>①10月のプログラム</p> <p>10/2 祝事、会員卓話 米山月間に因んで～米山記念奨学会委員長 大竹雅夫君</p> <p>10/9 招待卓話 米山奨学生 チャン・クワンティエン君</p> <p>10/16 新会員卓話 嶋田一郎君</p> <p>10/23 経済と地域社会の発展月間に因んで～招待卓話 毎日新聞水戸支局長予定</p> <p>10/30 新会員卓話 西村秀明君</p> <p>②10/14(日)ふれあい広場のメーキャップ扱い</p> <p>③10/26(金)～28(日)フィリピン レントゲン車贈呈式参加者へ一人5万円の補助金</p> <p>④会員選考委員会を 10/30(火)に例会終了後に開催</p>

<p>幹事報告 小島(律)幹事</p>	<p>・回覧：会員名簿、フィリピンレントゲン車贈呈式出欠表 ・ふれ愛広場 2018 は 10/14(日)に開催されますので、バザーへの提供品へのご協力をお願い致します。集める期間・場所については改めて糸賀社会奉仕委員長より発表して頂きます。</p>
<p>委員会報告 出席委員会 伊東委員長</p>	<p>会員数37名、出席数30名 出席率: 81.08% 先々週の訂正出席率: 89.19% 欠席: 大貫君、小野瀬君、糸賀君、西村君、関野君、杉野(美)君、佐伯君 メイクアップ: 牛久RC(山崎君)</p>
<p>国際奉仕委員会 杉野(訓)委員長</p>	<p>・グローバル補助金を活用したフィリピンへのレントゲン検診車の贈呈式の日程、費用等の詳細が決定しましたので報告します。 日程: 10月26日(金曜)～28日(日曜)2泊3日 又は10月26日(金曜)～29日(月曜)3泊4日 尚、理事会で1人5万円の補助も決まりました。 今から回覧しますので、参加希望者をご記入ください。 ・WCSの「この指とまれ」におきましては例年通り、提唱クラブの奉仕活動に協賛する事になりました。提唱クラブは、大子、水戸南、下館、しもだて紫水、玉造、つくばサンライズ、水戸西クラブです。</p>

## 研究会報告 米山記念奨学会合同セミナー

### 米山記念奨学会カウンセラー 伊東 寂円 君

奨学生のチャン君と共に合同セミナーに参加し、会場には菊地地区増進委員もお越しになられておりました。プログラム通りに進む中、様々なガバナー、カウンセラーその他、ガバナーエレクト、奨学会副理事長、総括委員長など各役職の方々の挨拶、また米山奨学会に掛ける思いやこれまでの事例等を頂いた後、カウンセラーと奨学生が別の分科会に分かれました。

その際、当分科会においては

1. 3ヶ月が過ぎますが奨学生との交流、活動は如何でしたか？
2. 残りの期間に向け何か問題点はありますか？
3. 今後、残りの期間を奨学生とどのような交流、活動を考えていますか？
4. 米山月間に奨学生の卓話など何かイベントを考えていますか？

などの協議事項を掲げ各クラブのカウンセラーが報告等を行いました。

当クラブの奨学生のチャン君については先日報告させていただきました当園行事の家族大運動会への参加、またクラブ主催の懇親会への参加、地域祭りへの参加依頼等を行い、文化交流の場を設けさせていただいたこと、またSNS等を活用し密に連絡をとれるようにしている事をご報告させて頂きました。このことから、1.2.3.については問題がないとのことを追記させていただきました。

このセミナーにおいて私が感じたことは、カウンセラーと奨学生との間に起きるハラスメント問題が重要ではないか？との点で、どこまで行い実行するか？そこにたどり着くまでのプロセスがいかに重要になるかの意見交換の場でもあったようにも感じます。幸いにしてチャン君は明るく積極的に様々な行事にはタイミングが合えば参加してくれる教養力等を持っているのでその点は安心しました。今後カウンセラーとして前



任のカウンセラーの阿部会長をはじめ、大竹米山奨学会委員長、また菊地地区委員、その他関係の方々と情報交換を密に行い奨学生との交流を深め、また準世話クラブとも連携を取りながら当クラブの奨学生で良かったと感じていただき、奨学生終了後も関係を断つことなく継続できるよう精進し企画対応に努力していきますので、会員の皆様のご理解、ご協力をお願いし、ご報告とさせていただきます。

### 地区米山寄付増進委員 菊地 達之 君

8/5(日)に米山記念奨学会の世話クラブ・準世話クラブ・校友会の合同セミナーがあり、その内容については今の伊東君からの報告の通りですので私からは世話クラブと準世話クラブ制度についてお話しさせていただきます。



準世話クラブはこの第2820地区独自の制度です。北海道では冬の時期に世話クラブに行くのが大変な場合、別のクラブを訪問するようですが、当地区のように他のクラブを定期的に訪問するような制度は他の地区にありません。

#### \*米山奨学生について

- ・米山奨学生は論文・面接による選考により決定すると、奨学生の入学式から始まって1年間、研修旅行で日本文化体験をして日本のものを知ってもらう。(例：学生に浴衣を着てもらって街を歩く企画等) 今年の暮れにも校友会主催で1泊の懇親会がある。
- ・1年間を通して学生と付き合うと、色んな意味での交流がもてる。多くは日本にきて学校を一つ、二つと勉強して大学を卒業し学位をとる子が多い。
- ・学生達は熱心。学業的に優秀ということだけではなく、米山奨学生というのは学業以外のことも吸収したいということがわかる。出来るだけ奨学生の数を増やして面倒をみていきたいと思う。

#### \*米山特別寄付金の問題点

- ・寄付が集まりにくい。
- ・学生の割り当ては各クラブでの個人平均寄付額を基準にしているため、奨学生を見たことがないクラブが半分くらいある。

当クラブは昔から伝統的にほぼ全員の寄付(3万円)が当たり前になっている。親クラブの土浦RCもそんな感じのクラブみたいなので、そういう繋がりもあったのかもしれない。

土浦は大口の寄付があるので、平均化すると土浦には敵わない。地区では毎年竜ヶ崎は2番、3番ぐらい。

#### \*準世話クラブ制度が始まる経緯

- ・お金(原資)が大事なものですから、何とか沢山皆様から特別寄付を集めたい。
- ・米山記念奨学会に対する思い入れ、考え方というのがクラブによって大分温度差がある。
- ・そのために米山奨学生に直接会ってもらおう、接してもらおうが原点。
- ・1回目に準世話クラブを始めた3.4年前は、丁度クラブ数が56クラブあって、奨学生が28人だったため、全クラブに割り当てられるということでタイミングが良く、クラブの盛り上がりを狙った。
- ・しかし1年目は場所の割り当て作業が難しくばらつきがあり、年に3回程度準世話クラブに行ける範囲でやったのだが、場所のばらつきがあり、中には準世話クラブに毎月という学生がいたり、連絡がうまくいなくて1回も行けない学生もいたりした。
- ・1年空いて、昨年度から再開。

#### \*準世話クラブの役割

- ・今まで奨学金を渡すのは世話クラブのみだったが、今年度より準世話クラブからも奨学金を渡してもらおうということにした。準世話クラブにも、奨学生に対する責任をもってもらったほうが理解しやすいため。



来年度以降も、どんな形になるか分からないが準世話クラブを続けると思います。皆様から寄付をお預かりして学生達に米山奨学会のこと、ロータリーのこと、日本のことを理解して頂いて、自分の国に帰ってもその繋がりを発展してもらいたいというのが本当の趣旨です。来月、また米山月間で話す機会があると思いますが、その時には米山奨学会の基礎的なことを話したいと思います。もし疑問に思うことがあれば、またその時に質問して下さい。よろしくお願いたします。

はいらいと米山9月号より抜粋

## 台湾学友会による日本人への奨学金が10年目

台湾米山学友会（正式名称：(社) 中華民國扶輪米山会）による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」が設立10年目を迎えました。6月末の締切までに19人の応募があり、台湾米山学友会理事会による選考の結果、過去

最多となる5人の合格が決定しました。合格者には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル（約90,000円）が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留學生活を物心両面で支えます。

 <b>山中 彩</b> 国立台南藝術大学大学院、織維専攻。染色工芸における表現技法	 <b>小島 和華子</b> 国立中興大学大学院、生物医学専攻。うつ病患者の痛み知覚緩和	 <b>小菅 理沙</b> 国立台湾大学。東アジア地域包括的経済連携における台湾の参加	 <b>松葉 準</b> 国立政治大学大学院。日本統治期における台湾の交通網形成	 <b>烏谷 重紗子</b> 国立屏東科技大学大学院、農園生産専攻。AI式改良SRI水稲栽培
---	---	--	--	---

この奨学金は、かつて日本に留學し、日本のロータリークラブから奨学金を受けた学友たちが、台湾の大学・大学院で学ぶ日本の若者に奨学金を支給し、日台の絆を深める人材を育てようとするものです。この奨学金の特長は、奨学金が支給されるだけでなく、実際に日本へ留學経験のある学友が「カウンセラー」として、台湾での生活に不安がないよう相談にのってくれること。また、月に一度、台湾米山学友会<sup>※1</sup>メンバーと交流する機会があることです。

ニコニコボックス		私は進んで奉仕の資金を提供します								
<p><b>¥3,000</b> 秋田君 大坂選手、USオープン万才。</p> <p><b>¥2,000</b> 池田君 稀勢の里の連勝。頑張って。 伊東君 杉野(副)君にお世話になりました。遅刻すみません。 海老原君 3年前の常総鬼怒川水害の取材を受けました。 諸岡君 秋の気配に、無事、夏を乗り越えられた気がします。</p>	<p><b>¥1,000</b> 海野君 昨日相撲を見てきました。稀勢の里が勝って盛り上がりました。早退します。 小島(孝)君 週報に写真が載りました。 滝澤君 早退します。若井君申し訳ありません。 寺田君 早退します。</p>	<p><b>ご芳志の寄金、ありがとうございました。</b></p> <table> <tr> <td>小計</td> <td>9件</td> <td>¥</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>147件</td> <td>¥</td> <td>480,000</td> </tr> </table>	小計	9件	¥	15,000	累計	147件	¥	480,000
小計	9件	¥	15,000							
累計	147件	¥	480,000							

通常例会を欠席される方は**当日午前10時まで**に若井副SAA(電話090-9645-0555)に必ずご連絡ください。

RI第2820地区・第7分区	<b>竜ヶ崎ロータリークラブ</b>	URL: <a href="http://ryugasaki-rc.org/">http://ryugasaki-rc.org/</a>
☆例会日:火曜日・12:30~13:30	☆会長・阿部孝義	☆幹事・小島律子 ☆SAA・滝澤健一
☆例会場:常陽銀行竜ヶ崎支店2階	〒301-0011 竜ヶ崎市横町4209	電話 0297-62-2112